

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス ウィズ・ユー入間

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		人々が自らの力を発揮し、その人らしく生きられる環境を創る										
支援方針		自立して生きていける力を身につけ、本人の気持ちを尊重し、その人らしく居られる場所を提供します										
営業時間		10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	定期的な定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）や生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）、保健の時間に入浴方法や性教育などを実施しています。										
	運動・感覚	運動は大きく体を動かす粗大運動と指先を動かす微細運動に分けられます。運動の成長は粗大運動から微細運動の順に育っていきます。また、微細運動とともに聴覚を使った音楽遊びや視覚を使ったビジョントレーニングは脳の機能を向上させると考えられています										
	認知・行動	プログラム開始前に、今日の日付や曜日、天気などを確認し、認知を促したり、事前に遊び等の終了時間を決め、こどもたちがわかりやすいようにデジタルタイマーで行動の切り替えができるように習慣づけています。										
	言語コミュニケーション	言葉はコミュニケーションに重要なツールであり、感情を言葉で表現できるようになると、情緒が安定するお子さんが多いです。言葉の表出を促すため、言葉につながるプログラムをたくさん取り入れています。										
	人間関係社会性	人前で自分の考えを発表することはとても難しいことです。まずは、書いてある短歌やマークを発表して、人前で話すことに慣れ、発表を聞くことに慣れましょう。また、お買い物では実際のお店へ行って、本物のお金でお買い物をします。										
家族支援		連絡帳や電話、面談等を通してお子様の情報共有を行います。						移行支援		利用者のライフステージに合わせ、情報共有をいたします。		
地域支援・地域連携		地域でのイベントへの参加や、併用先への連携を図ります						職員の質の向上		事業所内外の研修参加や、個人の知識や技術に合わせたeラーニング・AI研修を実施し、職員の質の向上を図っています。		
主な行事等		もちつき、豆まき、お菓子作り、調理、ハロウィンパーティー、クリスマス会など										